



受付第04A1036号

受付日：平成16年 7月13日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成16年 8月27日

財団法人 建材試験センター
 中央試験所長 勝野 奉 幸
 埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号



試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：フリーダムコーナー F-C10 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：厚さ6mmの鋼板を折り曲げ加工したもの（図-3参照） 材質：SPHC (JIS G 3131) 表面処理：ダクロタイズド処理</p> <p>2. 接合具 木ねじ：3#角ビット鍋スクリュー φ6.0×90，柱側5本，横架材側4本使用 呼び長さ；90mm，ねじ部の長さ；75mm，ねじ部の外径；6.25mm， 谷の径；4.45mm，ねじ山のピッチ；2.82mm，ねじ先の形状；切り刃先 材質；SWRCH22A (JIS G 3507) 相当品であり，下記の化学成分を満足する。 C (0.18~0.23%)，Si (0.10%以下)，Mn (0.70~1.00%) P (0.030%以下)，S (0.035%以下)，Al (0.02%以上) 表面処理；ダクロタイズド処理</p> <p>3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，横架材：樹種；すぎ，寸法；105×105mm</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>短期基準引張耐力 (Pot) : 12.5 kN</p> <p>耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6</p>
備考	当該試験結果は，平成12年建設省告示第1460号表三（へ）に定める10kN用引き寄せ金物（必要耐力10.0kN）に該当する。
試験期間	平成16年 7月21日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本 敏 男 試験責任者 高橋 大 祐 試験実施者 守屋 嘉 晃 ， 渡 辺
試験場所	中央試験所

性能試験成績証明書

試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力10.0kN）に該当する基準耐力を有することを認める

※（へ）厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（隅柱型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : フリーダムコーナーF-C10（出隅） 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SPHC（JIS G 3131）t=6.0 表面処理 : ダクロメイト処理 7μ 2. 接合具 木ねじ : 3#角ビット鍋スクリュー 柱側φ6.0×90mm 5本 土台（横架材）側φ6.0×90mm 4本 材質 : SWRCH22A（JIS G 3507） 表面処理 : 電気亜鉛めっき セラミックコーティング 3. 使用軸組 柱 : 105×105×600mm すぎ 土台（横架材） : 105×105×500mm すぎ 4. 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室）
試験結果	短期基準接合耐力 10.6kN
試験実施日	平成18年1月17日、18日
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設技術実験棟
担当者	研究員 中山一孝 試験員 伊藤和幸 試験員 原 孝志 試験員 鈴木香澄
備考	

証明書発行番号	HP06-KT003
証明書発行年月日	平成18年2月21日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣指定住宅性能評価機関第16号） （国土交通大臣指定確認検査機関第9号）



ハウスプラス住宅保証株式会社

